



江田島市

# 議会だより

〈元衆議院議長 故灘尾弘吉 書〉

2010年8月1日 第23号



みんなの願い交通安全

(江田島保育園)

## 主な内容

平成22年6月定例会・賛否表.....2~5

6人が一般質問・議会の動き...6~10

委員会活動.....11

**特集** どうなる交通問題.....12~13

市民の声.....14~15

# 平成22年6月 定例会



▲議会風景

平成22年第3回定例会は、6月21日に招集され、28日までの8日間の会期で開かれました。  
初日の21日には、市長の市政報告及び議長報告があった後、6人の議員が10項目の一般質問を行い、市政全般について市当局の考えをたずねました。続いて、専決処分報告と承認2件、6月22日には大柿浄化センター建設工事委託に関する協定の締結、市道の路線認定、補正予算案など12議案について審議を行い、いずれも原案どおり可決しました。

## 主な議案

### 市道の再編成

2055

地域により既存市道のサービス水準（幅員等）が異なり、住民の間で不公平感があることから、市道のサービス水準の統一化に向けて再編成を行うもので、基本的に「不特定多数の人と車が通れ

る道」を市道として認定します。

#### 質疑

Q 地域への説明はどうする？

A 周知については、掲示板に公示し、詳細な図面を本庁、支所に配置し縦覧できるようにします。この度の再編成で

大きく影響する沖美町については協議の場を持ち周知徹底いたします。

Q 再編成により、市道認定から外れる路線は市道から里道になり法定外公共物として維持修繕費用の住民3割負担が新たに発生するが、この対応をどうするのか？

A 再度、現地調査を実施し、悪い箇所を抽出し今後3年間で集中的に修繕します。

市道から里道になる例



里道から市道になる例



## 大柿浄化センター建設工事 委託を認める

協定金額 3億200万円  
協定の相手方 日本下水道事業団  
工期 平成24年3月30日まで

し尿や浄化槽汚泥を処理する鹿川のし尿浄化センターが老朽化で更新が必要であるが将来的にはし尿等を希釈して大柿浄化センターに送り集約して汚水処理する受け皿施設が必要となったもので、この度、2基目の増設工事を事業団に委託するものです。

#### 質疑

Q 鹿川のし尿浄化センターに新設するより大柿浄化センターにし尿等を希釈して送り処理する方が金額的に安くできるのか？

A 今後、し尿、浄化槽汚泥が減少してくるので汚水処理を集約して処理することが大事です。2ヶ所建設するより1ヶ所のほうが経済的に有利です。

Q 当初予算の金額と協定金額に大きな差があるのはなぜか。また事業団に委託させる理由をきく。

A 予算作成時には設計中であって積算設計精度をあげる時間差で金額の差が生じました。委託の理由は事業団が、下水の水処理施設の専門



▲大柿浄化センター

家集団であることと設計も委託しており工事中に業者への対応が迅速にできることです。  
Q 工事の発注は地元対策として分離発注をして土木工事だけでも地元業者ができるようにしては。  
A 事業団からの発注は一般競争入札により主たる工事の機械設備の一括発注をします。土木工事などを下請け発注する場合、市内の業者を選択するよう事業団に文書で申し入れています。分離発注すると諸経費がかかり全体事業費が増えたいと思います。

**可決**  
賛成 19人  
反対 0人

## 副市長の定数を改正

地方分権改革が進展する状況下で、市の行政需要に併せて副市長の人数について柔軟に対応するため「2人」を「2人以内」とするものです。

#### 質疑

Q 各部には、部長、課長を配置している。分担しながら職務を果たせば、副市長は1人でも良いと思うが。

A 本市は、行財政改革など、さまざまな取り組みを行っています。この取り組みに柔軟な対応ができるよう、場合によっては副市長の2人体制を含めた改正案です。

**可決**  
賛成 18人  
反対 1人

## 退職手当審査会設置

退職後に禁固以上の刑でなくても退職手当審査会に諮問し、懲戒免職相当の処分となれば退職金を返納させることができるようになります。

また、職員が在職中に法を犯すような行動を行い懲戒免職の処分を受ける前に本人が死亡した場合、退職手当審査会に諮問し懲戒免職相当の処分となれば、遺族に退職金を返納させることができます。

**可決**  
賛成 19人  
反対 0人



▲深江埋立地区

**可決**  
賛成 18人  
反対 1人

**公有水面埋立てに  
関する意見**  
— 大柿町深江地区 —

一般県道深江柿浦線深江地区における幅員狭小区間を改良し、交通阻害要因を解消するとともに、沿道住民の安全や車両通行の利便性を向上させるもので県から公有水面埋立てに関する諮問があったものです。

**国保税**

区 分	改正前	改正後	差
基準課税額	470,000	500,000	30,000
後期高齢者支援金等課税額	120,000	130,000	10,000
介護納付金	100,000	100,000	改正なし
計	690,000	730,000	40,000

理由 地方税法施行令及び国税収納金整理資金に関する法律施行令の一部を改正する政令（平成22年政令第45号）により、限度額が改正された。

**可決**  
賛成 19人  
反対 0人

地方税法の改正に伴い専決処分で平成22年4月1日から施行された改正条例（限度額69万円を73万円に）を承認し可決。

**限度額を73万円に改定**

**第3回（6月）定例会 賛否表（主なもの）**

議 案	議員名	議席番号	結果	表決数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
					浜先秀二	上松英邦	吉野伸康	山本秀男	大石秀昭	片平司	沖元大洋	野崎剛睦	胡子雅信	林久光	住岡淳一	山根啓志	登地靖徳	浜西金満	山本一也	山木信勝	扇谷照義	沖也寸志	新家勇二
特定環境保全公共下水道大柿浄化センター建設工事委託に関する協定の締結			可決	19:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
退職手当審査会設置条例			可決	19:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
副市長の定数を定める条例の一部改正			可決	18:1	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
職員の勤務時間、休暇等に関する条例等の一部改正条例の一部改正			可決	19:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
地方港湾大柿港の港湾管理者になることについて			可決	18:1	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
公有水面埋立てに関する意見			可決	18:1	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市道の路線廃止			可決	18:1	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市道の路線認定			可決	18:1	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成22年度一般会計補正予算			可決	18:1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成22年度国民健康保険特別会計補正予算			可決	19:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成22年度農業集落排水事業特別会計補正予算			可決	17:2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成22年度宿泊施設事業特別会計補正予算			可決	19:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○は賛成 ●は反対 ーは欠席



▲大柿港

**可決**  
賛成 18人  
反対 1人

現在県が管理している地方港湾大柿港について、事務移譲具体化協議での県市合意に基づき、平成23年4月に市に移管され、市が港湾管理者になるというものです。

**大柿港の港湾管理者となることについて**

**可決 平成22年度歳入歳出補正予算**

会 計 名	補正増減(△)額	補正後の額	補正の主な理由	
一 般 会 計	7,890万円	146億4,090万円	電子計算機委託料 秋月一呉航路の社会実験補助金等の増額	
特 別 会 計	国民健康保険	460万円	41億8,810万円	限度額改正による国保システム改修費の増額
	農業集落排水事業	150万円	1億2,120万円	三高浄化センターの機械修繕の増額
	宿泊施設事業	753万6千円	6,253万6千円	能美海上ロッジの空調・サンビーチ沖美の給湯改修工事の増額

# 6月定例会

# 一般質問

# 市政を問う

## 議員6名



**片平** 市営船は公営船として昭和23年に低運賃、スピード、快適安全を柱に運行開始し現在に至っている。

かつて民間船会社との運賃競争の時には民間10円公営23円を青年団を始め多くの住民が、公営船擁護のため高い運賃の船に乗る運動を推進し公営船を守った。

能美町交通局は町民の切実な願いを実現する為に住民と共に懸命の努力を続け、海上交通の整備充実を図ってきた。

今、市公共交通協議会設置で議論されているが民間委託、公設民営など市民の不安は大きく、江田島市予算約150億の行政執行にも地域不均等があり、納得できない市民の声がよせられている。



**大石** 高田、三高間の波浪対策については、2008年3月定例会で林議員が一般質問され、当時の市長である曾根市長は「護岸高が不足し、波浪により車輛が影響を受けていることは認識しているのに、早急に早期整備を要望する」と答弁されています。しかしながら未だ改善整備がされていないから再び私が質問させて頂きます。

**市長** 私も前市長と同感です。西部建設事務所へ土木建築部が毎年年度初めに要望活動を行っています。今年度も引き続き要望しています。厳しい財政状況でもあるが一層強く要望し、早期整備に向けて取り組んでまいります。

## 市営船維持を求め、市民の交通手段を守るが

片平 司議員

答 市民の交通手段は守る

西能美は下水道事業を合併前にほとんどすませ、江田島、大柿は合併後から始まっている。すでに5年経過しており、今年度だけでも一般会計から7億円の予算で今後10年20年と長い工事になる。市営船は合併後から累積赤字3億8千万だが市民の生活全体を守っているし、市営船は公共事業と比較して利益を生んでいる。通勤者40人で市民税約1億近くが入り、貴重な財源になっている。5月29日の中国新聞での呉秋月航路の廃止問題でもあきらかなように民間は経営第一で利益が出ないと撤退する。市営船を維持してほしい市民の声に答えるべきだと思います。市長の答弁を求めます。



▲市交通船（中町港）

**市長** 市民の交通手段は守らなければならない。その方法は公共交通協議会での結果を踏まえて全体的な視野にたって持続

可能な航路を目指していく。公設民営化も選択肢の一つである。

## 高田、三高間の高潮対策は

答 今年度調査し実現に努力

大石 秀昭議員

市民ニーズを反映した行政推進について

**大石** 現在江田島市以外（広島・呉方面）からの通勤者が数多くいますが、市の防災対策は充分で市民の安全は守られているのですか。又、通勤費が高速船対象で5万5千円、住居手当が2万7千円支給されている、江田島市在住の職員との平等性はどうか。これは私の選挙公約ですからぜひ改善していただきたい。通勤費を下げれば個人負担が増えるから江田島へ住んでいただけなのではないかと思う。

障なく、災害対応に努めております。通勤手当については、旅費の整合性もあり、今後の状況をふ

まえ、旅費の基準とあわせ検討したいと考えます。

**市長** 防災体制は大雨など災害予測される場合は職場や実家などで事前待機しているから大きな支



▲高田湯田地区

# 岩国基地の飛行騒音対策は

野崎 剛睦 議員

答 県・国に実情を訴える



**野崎** 日米両政府の在日米軍の再編計画に基づき岩国基地に、2014年までに神奈川県厚木から空母艦載機59機が、沖縄普天間基地から空中給油機12機が移駐して来る。

再編実施後は、今までに増して騒音被害の発生が予想されるがその対策は、

**市長** 騒音対策として、平成20年に国に要望して沖美支所に中四国防衛局の騒音測定器を設置した。

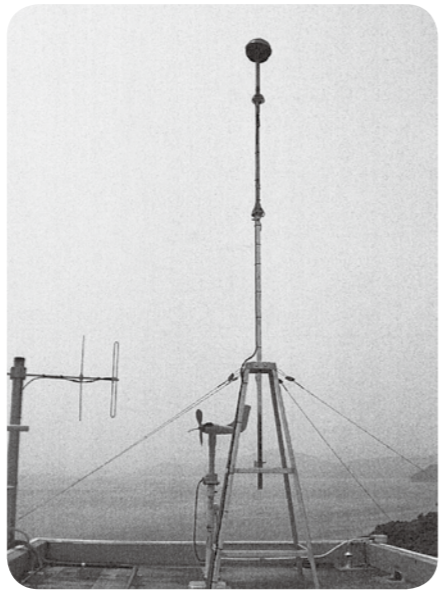
岩国基地の増強計画と今回の沖出し新滑走路により、騒音が増すことが予想されるので、周辺市町と連携して、騒音防止を県・国に訴える。

**市長** 人口が多い鹿川及び大柿町大原に、騒音測定器の設置をしては。

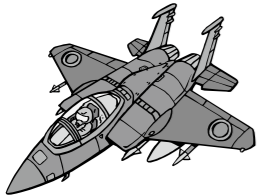
**野崎** 本市より遠方の町が騒音迷惑補償料を国が

ら受け取っているのに、本市にはなぜ支給されないのか。

**市長** 本市は、米軍再編による影響は少なく、交付金の対象にならない説明を国から受けた。



▲騒音測定器（沖美支所）



答 広域化の一環

# 呉市の一般廃棄物処分場建設費負担は

沖元 大洋 議員

**沖元** 呉市が焼山地区に建設予定の一般廃棄物処分場の建設費用70億円分の約5%、3億5千万円をどうして財政難にあえいでいる江田島市が負担するのか。

**沖元** 用地買収が難航しているために買収費用が100億円位になると聞くがそれでも江田島市は5億を出資するのですか。なぜ、広大な土地を利用しないのか。

**市長** 平成11年度から粗大ごみ処理施設の運営管理を民間委託していましたが、平成20年に民間に全面委託をしています。

職員の仕事考えた事はあるのか。環境センターの従業員は特定の議員の選挙のときに応援していたが。

**市長** 業務委託している業者は民間業者であり、選挙運動を行うことについては問題は無いと考えます。

**市長** ダイオキシンの類の排出削減を可能にするため平成10年7月に「広島県一般廃棄物広域処理計画」を策定し広域化を進めることになりました。

**沖元** 工事は地元の地権者との話し合いが難航していると思うが。

**市長** 建設予定地の地権者との話し合いは用地取得を終らせる予定で作業が進められています。

環境センターの業務委託について

**沖元** 平成19年末まで環境センター最終処分場の埋め立てと水処理等の業務は市職員と臨時職員等4名程で作業を進めていたと聞いていますが、噂ですが、沖美選出の元議員等が入札をした業者に無理難題を押し付けていたためその見返りに仕事の量を増やしたのではと考えられています。



▲環境センター（沖美町）

# 小学校の名称について

浜西 金満 議員

答 参考意見とします

**浜西** 江田島市でも少子化によって学校の統合が進んでいます。小学校も江田島町が2校、能美町が2校、大柿町では今後の状況により1校になる可能性ががあります。

耳を傾けながら慎重に進めるべきであると考えます。学校統合が進むと大柿地区については小学校が1校になる可能性ががあります。今回の御意見については、参考意見として受け取ります。

人口を増やす

政策を

**市長** 学校は、古い歴史と伝統・愛着があり、校名を変更することについては多方面からの意見に

**浜西** 江田島市の人口の減少はとどまることを知りません。Uターン、Iターンの定住促進施策も少しずつ効果が表れていますが、もう一つ踏み込んで、男女の出会いの場を積極的に提供するような施策を実施すれば、過疎化・少子化の歯止め効果が期待できると思えますが市長の考えを伺います。

**市長** 本年2月に中町公民館で「婚活パーティー」を開催し、男性21名、女性24名の参加がありました。本年度も計画しており、新たな若者定住促進事業に取り組めるよう検討したいと考えています。



▲大古小学校（大柿町）



### 山本 一也議員

## 行財政改革の進捗

### 答 健全で効率的な運営の確立

**山本** 持続可能な江田島市のまちづくりに向かって行財政改革を進めていますが、これまでの成果はどうか。また、どのようなまちをつくるための行財政改革をしているのか。

との総合連携を強化し、自主・自立できる持続可能な江田島市の実現に向け取り組みます。

**山本** 学力の格差の現状について伺います。

**山本** 格差を是正するため教員を増やして対応するべきでは。

**教育長** 少人数学習や特別支援等のため、県費の教員でなく、市費で講師を配置して教育の充実に努めています。

**市長** 平成17年度から第一次行財政改革大綱に基づき、効果的な行財政運営確立の取り組みを進めています。自主財源に乏しい本市では、今後もより厳しい財政状況が見込まれ、財政の健全化が課題になっていきます。第二次行財政改革大綱に基づく改革により、健全で効率的な行財政運営の確立に取り組み、現在見直しを進めている総合計画・実施計画及び市財政計画

**教育長** 江田島市の学校教育においては、21世紀を主体的に生きる心豊かな子どもへの育成のために、知育・徳育・体育のバランスのとれた教育を推進しています。知育に関しては、県や全国の学力調査における結果から言えることとして、基礎的、基本的な知識や技能については、概ね理解が図られておりますが、知識・技能を活用する力には課題が見られます。



▲市行財政改革審議会

### 議会の動き (平成22年4月～6月)

月	日	会議名	主な審議内容
5月	5・14日	議会広報特別委員会	議会だより第22号の編集
4月	20日	議会	議会だより第22号の編集
4月	22日	第5回議会全員協議会	秋月・呉航路について
4月	27日	大崎上島町視察研修受入	交通協議会について
4月	7日	議会運営委員会	国への要望事項等について
4月	11日	産業建設常任委員会	22年度主要工事箇所現地調査視察
4月	11日	交通問題調査特別委員会	公営船の運営状況について
5月	7日	第6回議会全員協議会	市地域公共交通総合連携計画について
5月	24日	協議会	秋月・呉中央航路について 県道深江柿浦線道路改良事業に伴う埋立について
5月	31日	重要事業要望活動(東京)	広島県選出国会議員ほか・生活交通(バス路線・船舶航路等)の維持確保に対する支援を求める要望ほか
6月	4日	第7回議会全員協議会	港湾・漁港の権限移譲について 市道の再編成についてほか
6月	14日	議会運営委員会	第3回市議会定例会の議会運営について
6月	15日	議会広報特別委員会	議会だより第23号の編集
6月	21日	第3回市議会定例会初日	一般質問 6名 報告4件、承認2件
6月	22日	第3回市議会定例会2日目	議案8件、補正予算4件

## 委員会活動

### 交通問題調査特別委員会

5月11日開催

**交通計画について**  
市の公共交通協議会が定めた「江田島地域公共交通総合連携計画」を定め、基本方針を、「江田島市を支える持続可能な公共交通をつくり、守り、育てます」としている。

考え方の基本は、「海上交通(航路)を基軸とし、陸上交通(バス、タクシー等)を含めた体系的見直しを行い、これらが一体として機能する『持続可能な公共交通体系』を、市の適切な関与の下、民間活力を活かしながら再構築します。」としている。  
事業の概要は次の8項目である。  
①西能美島航路の合理

## 産業建設常任委員会

5月7日開催

市内12ヶ所の現地調査を実施し、事業の進捗状況、権限移譲を受ける施設の概要等について説明を受けた。  
調査場所は次のとおり。

- ①柿浦漁港(権限移譲)
- ②大柿港(権限移譲)
- ③オリブ幼木園地(大君)
- ④農道八王子線
- ⑤大柿浄化センター水処理施設増設
- ⑥農地造成事業(深江釣附地区)
- ⑦県道大君深江線道路改良工事
- ⑧県道深江柿浦線道路改良工事
- ⑨深江漁港(権限移譲)
- ⑩畑漁港(権限移譲)
- ⑪三高地区放牧地
- ⑫美能漁港(権限移譲)
- ⑬高祖バイパス改良工事

**Q** 権限移譲を受けると、仕事は増えるが人は来るのか。  
**A** 人は来ないが、職員員の資質を高めるため、県へ職員を派遣・出向させている。

**Q** 市は行革で、これからは職員を100人くらい減らすと聞いている。それで権限移譲を受けることができるのか。  
**A** 権限移譲を受けると経費は係るが国からの交付税措置が見込まれるので、差し引き数百万円のプラスになる。それを人件費の財源にすることは可能である。



▲高祖バイパス(沖美町)

### 大崎上島町が視察研修に来訪!

4月27日、大崎上島町議会(交通対策調査特別委員会)9名が①「江田島市交通協議会について」等を研修テーマに来訪されました。  
本市の職員が、取組み内容等を説明した後意見交換をおこないました。  
大崎上島町からは、住

民の理解を得るための方法、民間航路の経営状況について等、多くの質問が出され、真剣に協議されました。  
お互いに航路維持のため多くの課題を抱えており、有意義な研修となりました。

図4. 2 航路の実証運航前後の平日便数

【中町・高田～宇品航路】			→	高速船 3隻 1日 27便		
フェリー1隻	1日	6便		高速船 2隻	1日	20便
【三高・大須～宇品航路】			→	変更なし		
フェリー2隻	1日	16便				

10月から  
実証運航へ

中町・高田～宇品航路（市営船）のフェリー便を廃止し、高速船を増便します。  
三高・大須～宇品航路の便数は変更なし。



▲三高港

図5. 高速船運賃値下げ案

①運賃（大人）	1,030円	→	930円
②回数券	総額10,300円 11枚綴り (1枚 936円)	→	総額9,300円 12枚綴り (1枚 775円)

※6枚綴りも検討

フェリー便の  
廃止には

交通協議会が高速船の運賃値下げなどを検討中です。ただし、運賃改正は条例改正（市議会の議決）が必要です。

# 特集

## どうなる交通問題

～ 西能美航路と秋月・呉航路の社会実験 ～

### 西能美航路の一元化へ！ 10月から半年の社会実験

なぜフェリー便の一元化なのか

- ①人口減少や陸路利用の増加による航路利用者減。
- ②市営船と芸備商船の2社体制では供給過剰。

フェリーの収入源である車両が分散し、運航採算が悪化。

- ①市営船は税金による赤字補てん。
- ②芸備商船は減便を検討。

### 合理化・効率化へ

- ①フェリー航路を一航路に集約し、一便あたりの運搬車両台数を増やす。
- ②運航距離の短い三高港にフェリー便を集約。（燃料費の低減によるコストダウン）

平成21年7月に江田島市公共交通協議会（以下、交通協議会）が発足し、約1年をかけて海上交通（航路）や陸上交通（バス、タクシーなど）の公共交通を持続可能なかたちに再構築することを目的に、江田島市地域公共交通総合連携計画を本年3月に策定しました。  
今回は西能美航路と秋月・呉航路を中心に説明します。

図1. 市営船の運航採算

	H17	H18	H19	H20	H21 (見込)
フェリー	▲82,288	▲113,480	▲98,708	▲65,520	▲98,536
高速船	▲17,780	▲28,996	36,441	8,126	46,177
合計	▲100,068	▲142,476	▲62,267	▲57,394	▲52,359

※ H20. フェリー売却の特別利益除く

図2. 中町・高田～宇品航路（市企業局）

運航期間		H21.4.1～22.3.31	H22.10.1～23.9.30 (見込)
収入 (A)	運航収入	492,129	389,669
	計	492,129	389,669
費用 (B)	運航費用	468,685	373,838
	営業費用	61,765	38,540
	その他	12,878	4,746
	計	543,328	417,124
収支 (A) - (B)		▲51,199	▲27,455

図3. 三高・大須～宇品航路（芸備商船）

運航期間		H21.4.1～22.3.31	H22.10.1～23.9.30 (見込)
収入 (A)	運航収入	316,632	373,072
	計	316,632	373,072
費用 (B)	運航費用	248,000	254,000
	営業費用	97,900	79,000
	その他	24,050	24,150
	計	369,950	357,150
収支 (A) - (B)		▲53,318	15,922

### フェリー一元化で 収支改善へ

交通協議会の資料では両航路とも大幅な収支改善を見込んでいます。

### 秋月・呉航路 7月から社会実験

大昭汽船が運航している秋月・呉航路について7月から4ヶ月間の実証運航をします。  
社会実験運航費や代替交通確保補助金（千二百六十万円）を含む補正予算が6月定例会で可決されました。

### 合理化の努力で 実験へ

今年3月までの一年間で約二千六百万円（月間215万円）の赤字を合理化によって月間140万円まで圧縮する。（赤字を補助金で補てん）  
利用者の少ない日中便の削減  
日祝日の運航休止  
運賃80円値上げ（大人420円↓500円）  
人件費25%カット

図6. 秋月・呉航路 社会実験終了後の対応

ケース①	11月以降も海上交通で対応 （大昭汽船又は他社による運航）
ケース②	陸上代替交通の導入まで（来年3月末まで） 他社運航による海上交通。
ケース③	陸上代替交通の導入まで（来年3月末まで） 貸切（バス・タクシー等）で小用港へ。

社会実験終了後（11月以降）の方針を9月までに決定する予定となっています。



▲秋月港

# 市民の声

## 市政に思う

「市民の声」は、第11号から14号（2007年8月～2008年5月）まで4回シリーズで掲載されていたものです。この度「もう一度掲載しては」という声が寄せられ、復活することになりました。市民4名の方にお話し、市政等に対する思いを書いていただきました。ご協力ありがとうございました。  
議会広報特別委員会

### 「住民の自治会」を目指して いち自治会長の夢

江田島町自治会連合会  
会長 中村 博政



平成12年4月、向側区自治会長を引き受けました。当時の自治会は、町の補助金を基に、役員が決めた行事に住民が参加をするものでした。21世紀は改革の風が吹き、地域は疲へいが始まりました。将来、地方分権になったとき、現状の自治会では対応出来るだろうか、心配しました。

は、「住民が自ら地域を治める」との意識を持つ事、意識改革を始めました。しかし、笛吹けど踊らずでした。平成16年、市が誕生しましたが、自治会はお寒い状態でした。平成17年、向側区が江田島八幡神社例大祭の当番になりました。住民奉仕の、真の自治会を発見しました。80才の老人が生き生きと太鼓を打ち笛を吹き、女性会が踊り、器用な人が金箱や屋台を作る。孫を呉から呼んで

出演させる。毎日練習を手伝う人等、全住民が参加してくれました。私は昔からの伝統ある自治会を見落としていました。目的が有れば率先して活動する団体があったのです。大柿町、能美町、沖美町も祭りを通じた自治会が存在しています。昨年11月、市自治会連合会（会長小方憲三）が初の研修会を開催しました。31名の会長が真剣に、熱心に議論をしました。市には、多くの団体が活

動しています。支所には4人の支援員が配置されました。体制は整いました。今後は、この組織を有効的に運用出来る「リーダー」の育成が急務となります。市民の皆様、ご支援ご協力をよろしくお願い致します。

### 高齢者・ 老ク会員は

江田島市老人クラブ連合会  
会長 猪子 嘉生



現役時代、われわれは地域には寝に帰るだけ、ひたすら働き納税し、国民の義務を果たすばかりだった。高度成長と社会形成の一端を支えてきた自負はあれ、リタイアした今も市政については市長に託し、各議員に託し、静かにそれを見守る。

「解」は見えない。市長は短い時間内に熱く語った。元国会、現県会議員、前市長、前町長等に対し、できるだけ多くの市民が開ける場と時間が欲しいと思った。高齢者も仲間と寄れば大声、醒めれば小声で市政を語る。最近目立つのは各地の港湾整備、大須山・陀峯山麓道路の整備等である。これが海生交流都市構想の一環かと誤解する。

だし、調査不足、根拠データ不足か、市長側に押し返された印象だった。その中で「市政に於ける市長の喜びは」の質問に、「市民が心安らかに暮らせる市政」と抽象的応酬。大半の人は聞き流したであろうが、高齢者にはついその形容詞に注目してしまった。少子高齢化の逆ピラミッド構造はすでに全国800市中750位以上、平均寿命は男女県内ワースト1・2位との広報記事もあった。長野モデルを目

指すと非常事態宣言があっても奇異ではない。教育長は10%を割る対年少人口層より、40%に迫る高齢者対策特別職といわれても納得できる。われわれは、一にも二にも健康づくりと生きがいある生活に努め、自ら医療介護費の節減に尽くす。それが自身のためであり後代のためと考える。真面目にPPK（ピンピンコロリ）を心掛け、「心安らかな生活」を目指したいものである。

### 建設業の再生と活 力のある江田島市

江田島市建設業協会  
会長 空久保 求



皆様もご承知の通り、私ども中小建設業界を取り巻く昨今の状況は国・地方を上げて公共事業の抑制政策が行われ、その上、企業活動に必要な金融機関からの厳しい融資条件などが重なって、多くの中小建設業者はこれまで経験したことのない厳しい状況に追い込まれています。

り、先行き不透明なまま平成22年度を迎えたわけでございます。このように公共事業予算が大幅に削減されれば社会資本整備を担う地方の基幹産業である中小建設業はますます衰退し、活力ある江田島市の街づくりに大きな影響を及ぼすと懸念されます。

この難局を打破するために、私ども江田島市建設業協会は国土交通省総合政策局による「建設業と地域の元気回復助成事業第二次募集」に応募したところ採択されました。「建設業と地域の元気回復助成事業」とは、地域の建設業団体が保有する人材や機械、ノウハウを活用して地方公共団体や農業・漁業・林業・観光・環境・福祉等の異業種団体との連携により協議会を設立し、建設業の活力の再生と地域の活性化を図

ろうとするものであります。この事業名は「江田島市フィードバックプロジェクト」です。すなわち江田島市全体を博物館に見立て、江田島市の自然環境や歴史・文化・農業・漁業などを生かした観光やレクリエーションの場、そして情報拠点作りであります。これを起爆剤に建設業の再生や雇用の維持、農林水産業・商工業の活力を再生、さらには江田島市の原動力となりうるものであると思われま

### 協働の まちづくり

大君自治会  
会長 眞谷 宏美



我々大君自治会では、昨年、平成21年4月大君小学校の閉校を機に10団体44名で「大君まちづくり協議会」を立ち上げ、6月から地域の拠点として小学校跡地を借り受け活動しています。教育施設の全くなくなった大君にとって小学校跡地は唯一のコミュニティ施設です。

です。昨年は、まず、基盤づくりとして各種団体とのコミュニケーションを図るため、月1回の定例会を開催し、各行事を協同でおこなってきました。今年度は5部会を結成し、各部会毎に挙げた大君の問題点を基に目標を掲げ、10年先を見越した「大君まちづくり基本計画」を策定し計画的にまちづくりを推進していくことを目標としています。基本計画策定にあつ

ては地域の諸先輩方、行政の各部・課との連携が必要で。各部活動の間計画を立てるとき「我々出来る事」「行政と協働で行う事」「行政に委ねる事」等、住民と行政の役割分担、責任の分野を明確にし活動することが最も重要です。「協働・改革・前進」を念頭に置き、地域住民に少しでもお役に立てるよう努めていきたいと思っています。

住み良い」そして「住んで良かった」と言える、そんなまちづくりを当協議会は推進しています。又この度グラウンドの一部を緑化運動の一環として、芝張りをおこないました。秋の地域運動会にはグリーン一色になり、地域の皆さんに喜んでいただけるものと思っております。キーワード「輝け大君」





▲ちびっ子花田植 (沖美町)



▲よさこいソーラン (江田島小学校)

# まちがど フオトスケッチ



▲そうめん流し (飛渡瀬保育園)



▲たなばた祭 (高田保育園)

## 編集後記

今年もすでに折り返し地点を過ぎました。一年の目標達成率はどうかでしょうか。

本号では『交通問題特集』を企画しました。3月に策定された公共交通総合連携計画がいよいよ実施されます。西能美航路一元化や秋月・呉航路の社会実験でどのような結果がでるのか議会としても気になるところです。

海上交通なくして江田島市の存続はありません。行政・市民・議会が力を合わせて持続可能なまちを創っていきましょう。

(広報委員 胡子雅信)

### 議会広報特別委員会

- 委員長 扇谷 照義
- 副委員長 山本 信勝
- 委員 胡子 雅信
- 委員 大石 秀昭
- 委員 上松 英邦
- 委員 浜先 秀二

## 次の定例会は9月です。お気軽に傍聴にお越しください

※問い合わせ先 江田島市議会事務局  
 〒737-2193  
 広島県江田島市江田島町中央一丁目1番1号 (江田島支所2階)  
 TEL (0823) 42-6310 FAX (0823) 42-6315

○発行 江田島市議会  
 ○編集 議会広報特別委員会